

朝日新聞デジタル連載近づく 大阪・関西万博記事

万博向け大阪市で路上喫煙全面禁止へ 屋外喫煙所増設方針も課題指摘

有料記事 近づく 大阪・関西万博

原田達矢 2024年3月8日 13時30分



B!

[list](#) 0

大阪市内の禁止地区で路上喫煙していた男性に声をかける指導員=2023年12月8日、大阪市都島区、原田達矢撮影

大阪市は、大阪・関西万博の開幕にあわせ、2025年から市内全域の公道や公有地で路上喫煙を禁止する方針だ。開会中の市議会に、路上喫煙防止条例の改正案を提出した。市は、全面禁止までに屋外喫煙所を大幅に増設するなど分煙対策を進めるが、受動喫煙を懸念する指摘もあり、計画通りには進んでいない。全面禁煙の実効性を疑問視する声も上がる。

「ここ、路上喫煙禁止地区なんです」。昨年12月、京阪京橋駅近くの路上。歩きたばこをしていた男性に、青いジャンパーを着た市の「路上喫煙防止指導員」が声をかけた。男性は不服そうに「禁止地区ってわかりにくいんや」と言いつつ、たばこの火を消して1千円の過料を支払った。

市は07年に、市路上喫煙防止条例を制定。当初、禁止地区は御堂筋と市役所周辺だけだったが、15年に京橋駅周辺も追加した。18年に大阪での万博開催が決まった後は、阪急大阪梅田駅やJR天王寺駅周辺も禁止地区に加わっ

た。

屋外喫煙所増設 足りる？ 足りない？

日本たばこ産業（JT）によると、東京都千代田区や神奈川県大和市、大阪府四條畷市などでも条例で路上喫煙を全面禁止としているが、「大阪市のように規模の大きい自治体が全面禁煙にするのは国内初では」という。

ただ、条例が禁じているのは、公道や公有地での喫煙だ。喫煙者が、吸う場所を求めてコインパーキングなどの私有地に押し寄せるなどのケースが見られたことから、路上喫煙を禁止した自治体の多くが屋外喫煙所を新たに整備している。大阪市も22年、市が管理する屋外喫煙所（当時は6カ所）を、120カ所新設する計画を明らかにした。

さらに、民間事業者による整備を促すため、市は23年度、事業者が喫煙所を設置する場合に地下なら2千万円、地上なら1千万円を上限に整備費用を一部補助する制度を新設。新年度以降、更に補助メニューを増やすことも検討しているという。

公園に喫煙所→「受動喫煙心配」→断念も

だが、全面禁止まで1年を切った2月末日時点で、市の設置で決まったのは8カ所。民間補助の申請があったのも34カ所にとどまった。公園に設置しようとして「子どもたちが遊ぶ場所だから受動喫煙が心配」と反対され、整備を断念したケースもあるという。

そもそも市が目標とする120カ所では足りないとの指摘もある。改正健康増進法を受けて、19年には府が受動喫煙防止条例を制定。25年4月に全面施行されると、30平方メートルを超える飲食店も「専用の喫煙室を設ける」などの対策をしない

限り、原則屋内禁煙となる。喫煙者は公道のほか、飲食店でも禁煙となる場所が増える。

市内の商店街組織でつくる市商店会総連盟は、独自の試算をもとに367カ所の整備を要望。府飲食業生活衛生同業組合も「喫煙者は、飲食店でも路上でも喫煙ができなくなる。120カ所で足りないことは火を見るより明らかだ」として、計画数を増やすように市議会に陳情書を提出した。横山英幸市長は、まずは120カ所について「必ず間に合うようにしていく」と述べるにとどめている。

市が万博開催に向けて路上喫煙の全面禁止を打ち出した背景には、「受動喫煙を止めるのが世界の潮流だ」とする考えがある。だが市内の全域で禁煙にすることに対しては、意見が分かれている。

市が昨年8～9月に実施した路上喫煙の全面禁止についてのパブリックコメントで、回答199件のうち賛成が69件、喫煙所の数を増やすなどの条件付きでの賛成は27件、反対は88件だった。市内全域に拡大する方針に対しては「まずは喫煙所の整備を行うべきだ」などの意見が寄せられた。

万博会場は全面禁煙見通し 会場外に喫煙所検討

日本国際博覧会協会によると、万博会場の敷地内は全面禁煙となる見通しで、会場外に喫煙所を設けることを検討しているという。ただ、喫煙所の不足が指摘されており、横山市長は2月29日の市議会で「万博中の暫定的な喫煙場所の確保を検討する」と述べた。

条例で路上喫煙禁止はできるのか。関西大学の田中謙教授（行政法）は「非喫煙者への受動喫煙の被害を防ぐには、市内全域で路上喫煙を禁止する必要があると思う」とした上で、条例に実効性を持たせるには過料を徴収する人員や財源の確保が課題になる、とみる。田中教授は「当面は過料を徴収する地域を限定して、徐々に広げていく方法もある」と話した。（原田達矢）

◆大阪市の路上喫煙禁止までの主な経緯

2007年10月 「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」（路上喫煙禁止条例）施行。御堂筋や市役所周辺が路上喫煙禁止地区に

22年3月 松井一郎市長（当時）が「受動喫煙を止めるのが世界の潮流だ」として、万博までに市内全域での路上喫煙禁止の方針を示す

11月 市が当時6カ所だった市の喫煙所を120カ所新設する方針を示す

24年2月 25年1月から市内全域での路上喫煙禁止を定めた路上喫煙禁止条例改正案を、市が市議会に提出

25年4月 大阪・関西万博が開幕

同 「大阪府受動喫煙防止条例」が全面施行。面積が30平方メートルを超える飲食店で原則屋内禁煙に